

今後の見直し内容

事業名	施設使用料の見直し(コミュニティセンター)
事業所管部局	都市戦略本部 行財政改革推進部、市民局 市民生活部 コミュニティ推進課
公開審議 における 議論の概要	<p>■コミュニティセンターの運営コスト等について (改革)コミュニティセンターの運営コストは、使用料でどの程度賅えているのか。 (所管)コミュニティセンター19館全体でコストが約12億6580万円、使用料収入が約1億4242万円で、平均で約11パーセントである。 (改革)本市の水準は、他の政令市と比較してどうなのか。 (所管)各政令市はバラツキがあるが、概ね本市より高い水準となっている。 (改革)本市の使用料は引き上げの見直しをすべき時期に来ているのではないか。 (所管)新たな負担を市民にお願いするにあたっては、市全体の使用料の基本的な考え方が整理されたいうえで慎重に判断していく必要があると考えている。</p> <p>■コミュニティセンター使用料の算出方法について (改革)現在のコミュニティセンターの使用料は、光熱水費と清掃費をもとに算出しているというが、どう いう考え方に基づいているのか。 (所管)受益者負担ということで、利用にかかる経費の一部について、経常的な施設の管理運営に起因 するものを御負担いただいている。 (改革)他の政令市における受益者負担の考え方はどうか。 (所管)各市で異なるが、人件費や修繕料等を含めている例がある。 (改革)他の政令市と比較すると、本市の受益者負担の考え方(対象経費や割合等)を見直す必要が あるのではないか。 (所管)同じような貸館業務を行っている市の公共施設全体の考え方を整理したうえで、新たな負担を 求めることには十分な検討が必要と考えている。 (改革)一律の算出方法ではなく、施設への交通の利便性等、利用する側の立場に立った使用料の設 定ということも考えるべきではないか。 (所管)利用者の立場に立ち、御理解いただけるような基準づくりは、現状では難しいと考えている。</p> <p>■コミュニティセンターの市民サービス向上策について (改革)施設によって利用率に差があるが、その理由・原因について、どのように分析しているか。 (所管)詳細な分析は行っていない。 (改革)利用促進策として、どんな取組を行っているのか。また、どの程度、成果がでているのか。 (所管)指定管理者の自主事業による新たなグループの設立や予約システムのリニューアルが利用率 の向上につながっていると考えているが、なかなか数字になって表れてはいない。 (改革)利用率の向上には利用者ニーズの把握が必要だと思うが、どんな取組をしているか。 (所管)アンケートを毎年実施し、要望等にも対応するなど利用者の使いやすさに努めている。 (改革)アンケートを実施し、要望に対応していても、結果として利用率の向上には結びついていないた め、更なる工夫をすべきではないのか。例えば、利用時間帯区分の細分化や、利用率に応じた使用料 の差別化等は考えられないか。 (所管)利用者の意向を踏まえて検討していく必要があると考えている。公民館との連携や地区連絡協 議会の場も活用して、市民サービス向上が図れる運営に努めていきたい。</p>
市民委員の 意見概要	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の設定は適正かという、ややリーズナブル過ぎる気がする。 ・継続可能な市財政を目指すのであれば、大幅な見直しはやむを得ないと思う。 ・使用料の見直しは一律にする必要はなく、利用率に応じた使用料とし格差をつけることで、利用率を高められ ると考える。 ・現状は、施設運営コストの市負担が大きすぎる。税金の無駄使いに感じる。 ・立地や利用状況等を踏まえた料金設定を行わないと、余計な経費がかかり、もったいない。 ・利用率のばらつきは利便性の影響もあり、地域により利用率を変えることもよいのでは。 ・使用料をアップする際は段階的にすることが必要と考える。 ・利用者には修繕料の一部を負担してもらうことは適正と考える。 ・よく使われる施設とそうでない施設とを分析し、サービス向上の一環としても市場原理を取り入れるべきでは。 ・会議室の枠の細分化が必要と思われる。 ・利用時間直前になって空いているときは、利用料をディスカウントするのも選択肢ではないかと思う。 <p style="text-align: right;">(右ページへ続く)</p>

今後の見直し内容

<p>市民委員の 意見概要 (続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門の事業を連携して改善すべき。どうしても向上できないものは他用途への転用を図るべき。 ・利用促進に向けた取り組みが、結果につながるのかイメージしづらい。 ・ニーズの把握をどのように行っているのか、どのように行っていくのか、明確化すべき。 ・諸経費の見直しの考えはないのか。収入面だけでなく、支出面も含めて議論すべき。 ・地域交流や地域支援の本来の設置目的に合わない利用ケースがあると思う。 ・利用率が低い施設は縮小するか、閉鎖するべき。 ・積極的に、センター職員自身の努力により、企業・教育機関などに利用を促進する活動が必要。 ・私企業が会議室不足でコミュニティセンターを利用するのは受け入れがたい。 ・災害時に防災センターの役割を果たしてもらえらるなら、費用を5年に1度見直すなども理解が得られると思う。 ・使用していない人に対するアンケートを行うことも必要。 ・施設別、時間帯別、用途別、地域性を考慮した分析を行うべき。 ・施設の統廃合の考え方はないのか。人口に対して19施設は多いのか少ないのか。 ・受益者負担を100%にするなら民間に任せればよい。なぜ市が建設して運営する必要があるのか、行政サービスの原点が問われる。 ・公益性の高いものは安く、娯楽性の高いものは高くする等のメリハリをつけるべき。 ・人件費等のコスト面での議論がないままに値上げの方向を位置づけるのには違和感がある。 ・使用料を見直すことで、どれだけ効果があるのか不透明。最終的な目標感が全くわからない。 ・利用率が低い施設は、使用料を引き上げることで、更に利用率が下がる可能性がある。 ・使用料を数年ごとに見直すことは必要だが、値上げは当分しないほしい。
<p>傍聴者の 意見概要</p>	<p style="text-align: center;">—</p>

◎公開審議結果などを踏まえた今後の見直し内容

<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>○コミュニティセンターの利用率UPを図ります。</p> <p>○市民ニーズを定期的に把握します。</p> <p>○使用料の見直しの考え方に即した見直しの検討を行います。</p> </div> <p>■コミュニティセンターの利用率UPを図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館等の地域施設と連携した取組などを更に充実させ、新たな利用者の増加に努めます。 ・市民意見を踏まえて、利用率向上を図るための新たな取組を検討していきます。 ・必要な施設修繕等を行い、利用しやすい施設運営に努めます。 ・利用の少ない夜間に、魅力ある講座を実施すると共に、参加者による自主活動サークルの発足を支援します。 <p>■市民ニーズを定期的に把握します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、各施設において、利用者に対しアンケートを実施していますが、利用者以外のニーズの把握を図るため、インターネット市民意識調査等を活用するなど、広く市民ニーズ把握に努めます。 <p>■使用料の見直しの考え方に即した見直しの検討を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他政令指定都市等の状況を把握のうえ、本市の見直しの考え方が示された段階で、これに即するよう使用料金見直しの検討を行います。
<p>◎改革担当部局の見解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用料の見直しの考え方については、市民委員からも賛否様々な意見が出されましたが、本市コミュニティセンター使用料が他の政令指定都市と比べて低い水準にあることを踏まえると、市民の理解が得られるようなかたちで使用料見直しを実施できるよう、今後も引き続き検討していく必要があります。 ・施設運営に係る支出コストについて更なる経費節減に努め、使用料の見直しに向けた市民の理解を促すとともに、利用率の低い施設の利用率向上を図り収益拡大に努めていく必要があります。 ・市民が使いたいと思う施設にしていくことが利用率向上にもつながるものであり、施設所管課が市民ニーズを的確に把握し、利用者本位の市民サービス向上策に柔軟に取り組んでいく必要があります。